



吉川三津子 議員

## 雀ヶ森処分場、廃止とヒ素問題は

### 市民生活部長

業者から排水基準と比較した報告を受けていた。本来は、環境基準と比較すべきだった。

### 質問

業者に対して、賠償請求などの措置をすべきだ。処分場を廃止できない理由は何か。

### 市民生活部長

法律上、処分場の底辺部に汚水のための集水管がなければ廃止できない。

集水管を入れる計画になっていたが、当時の書類や写真、関係者の話から確認した中で、集水管の布設はされていないと判断した。

### 質問

ゴミを撤去するといくらぐらいかかるのか。環境調査に毎年100万円かかっており、早期に解決すべきだが、そのめどは。

### 市民生活部長

積算に努めている。

できるだけ速やかに進める。



平成9年10月ごろの雀ヶ森処分場の違法状況

### 質問

東浦町では、人口水増しで刑事事件にまで広がっている。桑名市では、前市長に近い関係業者との契約が問題になった。

議員にはない予算編成権や契約などの決裁権を、市長をはじめとした幹部職員らは持っている。議員以上に、市長などの倫理は重要である。市長らの倫理条例の制定は。

### 総務部長

検討課題のひとつである。

### その他の質問

公有財産を残土施設に貸すのは問題だ(東保町)

### 質問

平成9年、県に処分場建設の届け出をしたが、計画通りに造らず「ゴミの投棄保管を続けた。11年に県は「計画通り設置せよ」と村に通知書を送付。12年に村長名で「改善する」と報告しているが、法に合致した処分場でない可能性が高く、廃止できない状況だ。この問題を質問し、2年になる。経過を伺う。

### 市民生活部長

22年12月議会で、「ゴミの全量撤去か、届出通りの施設を造るかで解決を考えると答弁

した。

その後、県に相談し、「ゴミ質のボーリング調査をした。24年9月の県調査で観測井戸から基準の8倍のヒ素が検出されたことを受け、市としても調査を実施した。

### 質問

14年以降、ヒ素が環境基準をオーバーしている。その都度再調査をしていたということとは、市は環境基準超えを認識したはず。対処してこなかった理由は何か。

## 市長らの政治倫理条例の制定を